#### 令和5年度 第3回佐久市社会教育委員会議 会議録

日時 令和5年10月31日(火) 午前10時00分~午前11時30分 会場 佐久市役所南棟3階 大会議室

- 1 開 会
- 2 あいさつ 原委員長
- 3 会議事項
- (1) 「居場所」について経過報告と今後の計画

# 委員長

事務局より説明お願いします。

#### 事務局

これまで2つのグループに分かれて活動していただき、7月からの新任委員のみなさんはグループには属さず、既存グループの活動を見学しつつ社会教育委員としての視野を広げる期間とさせていただきました。

今後も各グループの活動に区切りがつくまではCSと子育ての2グループを主軸に活動 していただきたいと思います。新任委員の方々は今回の会議では興味のある方のグループの話 合いに参加していただき、今後も所属は明確に決めずにどちらにも関わりながら やってみたいことを決めていただければと思います。

なおグループの所属については人数のバランスは考えずに、委員のやりたいことや 興味のあることを優先したいと考えております。説明は以上です。

#### 委員長

それでは、グループワークに移ります。時間は10分間です。

後ほど、各グループの代表者に、一人約2分ずつ、

話し合った内容を発表していただきますので、

代表者も決めておいてください。それでは始めます。

~グループワーク~

時間になりましたので、発表に移ります。

各グループの代表者は経過報告について発表をお願いします。

# 子育てグループの代表委員

- ・子育て支援マップの作成・調査をしていく中で、大きなものは置いてもらえない可能性があると判明。
- ・置いてもらいやすく且つ手に取りやすい小さめのサイズがいいのではないか。
- ・「悩み検索ワード」を載せたリーフレットデザインを検討。
  - →関連する悩みに沿った支援施設を記載する。
- ・デザインや方向性で相談継続中。

# コミュニティ・スクール代表委員

- ・6月に有志による会合、7月にCS関係者会議を開催した。
- ・野沢小学校CS支援シートを用いて学校と地域コーディネーターと繋がりづくりを実施。
- ・中学校はCSの充実が不十分だと感じられる。地域のPTAや民生委員等と連携することが必要。
- ・CS活動の方向性については相談が必要。

## 委員長

ありがとうございました。

続いて、各グループの今後の計画に移ります。事務局より説明お願いします。

#### 事務局

今年度末に教育委員との意見交換会を開催しようと計画しております。そこで各グループの 成果報告をしていただきたいと考えております。ひとまず教育委員との意見交換会を目途にグ ループ活動の今後の計画を話し合っていただきます。

#### 委員長

それでは、グループワークに移ります。

各グループで今後の計画について話し合っていただき、代表者に経過を発表していただきます。話し合いの時間は40分です。それでは話し合いを始めてください。

### ~グループワーク~

時間になりましたので、発表に移ります。

まずCSグループの代表者は話し合った内容について発表をお願いします。

### コミュニティ・スクール代表委員

年度中に2回関係者の意見交換会を開く予定で、12月に開催を予定している。

コーディネーターの方同士で、各地域の取り組みや活動内容を報告したり、悩みを気軽に話せ たりできる場にしたい。

### 子育てグループ代表者

話し合いの結果、最初に考えていた方向性に戻すことに。電話番号と悩みの種類(友達・家庭・学校など)を載せる。目を引くデザインを表紙にして、手に取りやすい小さめのサイズで作成する予定。

# 委員長

ありがとうございました。各グループ今後の見通しがつきましたので、今後も活動を続けていただけたらと思います。

# (2) デジタル活用に係るアンケートについて

# 委員長

事務局より説明お願いします。

### 事務局

まずは事業概要です。現在は窓口において紙の申請と現金の支払いで対応している貸館業務を、空き状況の確認、予約、使用料の支払いの一連の手続きをオンライン化するというものです。導入のスケジュールは令和7年4月の運用開始を目指して動いております。

そこで、公民館の学習グループを対象にデジタル活用に係るアンケートを実施したいと考えており、今回社会教育委員の皆さんに話し合っていただきたいのは、その質問項目についてです。アンケートの実施目的は「アンケートの回答結果を、公共施設のオンライン予約システム導入に伴うデジタルデバイド対策に活用する。また、公民館におけるIT関連講座のニーズを把握することを目指す。」というものです。デジタルバイトというのはインターネット等ITの恩恵を受けることのできる人とできない人の間に生じる経済格差を指します。

質問項目の1~3はオンライン予約について、4~5は公民館からの質問項目でIT関連講座のニーズ把握についてです。

グループで各質問項目に改善点、または追加した方がいい質問等の提案があれば出していた だきたいです。以上です。

### 委員長

ただ今の説明について、ご質問、ご意見等ございましたらお願いします。

# 委員

オンライン決済を導入するとのことですが、現金支払いは無くすということでしょうか。

# 事務局

クレジットカードやPaypayなどのオンラインによる支払いが出来ない人のために、現金支払いは残していく予定です。

# 委員長

それでは話し合いに移ります。くじで決めたABCグループに分かれて15分話し合いを行います。

~グループ移動、グループワーク~

## 委員長

時間になりましたので、発表に移ります。

### Aグループ代表者

- ・回答項目の中に「ぜひ利用したい」「利用したい」とあるが、「利用したい」一つでいいのではないか。アンケート結果を利用する際に、回答が「ぜひ利用したい」があると強く推しやすいという意図であれば、残してもいいと思う。
- ・講座の参加意欲を問う質問の回答項目は「参加したい」のみなので、「ぜひ参加したい」も 追加した方が、統一性が出るのではないか。

# Bグループ代表者

- ・アンケートの対象が公民館学習グループとあるが、対象をもっと広げた方がいいのではない か。
- ・講座の参加意欲を問う質問は、講座の内容をもう少し詳細にした方が分かりやすいのではないか。

# Cグループ代表者

- ・アンケートの質問の順番を変更した方が、内容がまとまり分かりやすいのではないか。
- ・抽選機能については優先度をしっかり設ける必要がある。

# 委員長

ありがとうございます。それでは、お出しいただいた意見について全体で話し合いを行います。

~出た意見で進めるということで良いという意見多数~

# 委員長

ありがとうございました。この後のアンケート作成については事務局にお任せします。

# (3) その他

※事務局より次回の会議日程、配布物について連絡。

## 6 閉 会